

マスコミが報道しない真実

井上和彦

いきなりデモ発見「カメラ回して」(デモではなくスタンディング行動)

反対派をみつけて、

井上「あ、いました、いました、いました。反対運動の連中がですね、カメラ向けているとですね、『あ、あいつだあいつだ』という感じですね、こっちの方をみています。この辺の運動家の人たちが襲撃をしてくるということをいっているんですよ。」

井上さんは反対派にとって有名人。

スタジオ 井上さん、このまま突っ込んで襲撃されないですかあ〜。

近く行く？いやこれ以上近づいたら危ない、危ない。

井上さん自ら取材交渉へ

しかし、このままだと危険と判断しロケ中止。

井上「近づくと一人二人立って、何かね、敵意をむき出しにしてきて、かなり緊迫した感じになりますんで、このあたりでやめておきます」

そんな状況の中、緊迫した現場へ。

元祖反対派が集まる普天間基地へ向かった。

井上「え〜、米海兵隊普天間基地、やってまいりました。」

井上「え、普段ならひどい状況になって」(基地の外の反対派によるフェンスへの抗議行動のテロップ)

「車道を横断し罵声 (Marine Get Out!) を浴びせる活動家」のテロップと映像

井上「ちょっとどうなっているのかと思って地元の方に聞いてみるとですね、何とここで反対運動をやっている人たちは、土日お休みなんですよ。週休2日のようですね。」

スタジオ ちなみに次の朝、ちゃんと出勤していた反対派の皆さん、お疲れ様です。

もう一つの理由は、この辺の反対運動の人たちがどうやら高江ヘリパッド建設地の方に、集中投入されていると言うことで・・・」

とにかく反対派の人たちは、高江に集結しているとのこと、そして井上さんが次に向かったのは・・・

井上「え、なんだなんだこれは、ブルーシートやテント。非暴力・徹底抗戦、沖縄つぶしはゆるさない・・・うわー。定年過ぎた人たちばかりですね (スタジオ笑い)」

反対派の過激デモを支えるのが彼らシルバー部隊。万一逮捕されても生活に影響の少ない65歳以上のお年寄りを集め、過激デモ活動に従事させているという。

次々と高江に向かう機動隊。我々の気分も盛り上がってきたのだが。

井上「え〜二見杉田トンネルの手前までやってきたのですが、ここは辺野古よりさらに北の方に来た所なんですけれども、実はですね、このトンネルをくぐっていきますと、米軍基地の境 (トンネルの先が高江ヘリパッド施設現場一のテロップ)、ヘリパッドの建設現場

ということになります。実はここへ来る前に、方々からですね、ここはちょっと我慢して欲しいと・・・」

(当日高江ヘリパッド建設現場は過激デモで危険なためロケ中止の要請が・・・のテロップ)

高江に向かっているロケの途中、地元関係者から高江ヘリパッド建設現場が緊迫してトラブルに巻き込む危険があるので、今回の撮影を中止すべきだとの要請があり、残念だが井上さんにはロケを断念してもらうことに。

井上「このトンネルの手前で、私ははるばる羽田から飛んできたんですけど、足止めを食っている状況なんですよ。」

反対派の暴力行為により、地元の住民でさえ高江に近寄れない状況。果たして現状はどうなっているのか。

地元に住んでいるこの人に聞いてみた。(依田啓示さん)

依田「12月のね、20日に返還してもらって(12月20日に米軍北部訓練場の約4千ヘクタールを返還)、今最終版の大詰めになっているもんですから、抗議団体が命がけで止めてやろうということで先鋭化しちゃってるんですね。」

警察でも手に負えない高江ヘリパッド反対運動。(警察も手に負えない高江ヘリパッド移設反対デモ運動・・・のテロップ) 地元の人も泣き寝入りするこの状態。

依田「ぼくら村民の日々の生活がですね、停まってしまうくらい公道にどんどん違法駐車して何10台も重ねて、対向車線に止めたりですとかね、普通に自分の畑に行きたくても通れないとかね」

井上「救急車も止めたとかという話も」

依田「それはあります。防衛局、機動隊の人が暴力を振るわれているので、その救急車を止めて現場に急行できないという事態がしばらく、ず～～っと続いていたんですよ。」

井上「テロリストみたい」

依田「僕はテロリストと言っても全然大げさじゃないと思いますよ」

なぜあと先考えず犯罪行為をくりかえすのか。その裏には信じられないカラクリがあった。

(そこには報道されない真実が！！のタイトル)

その事実を知る人に会うため、我々は辺野古に向かった。

ラジオDJ ボギー手登根

井上「これね、今日ボギーさんからね、驚くべきモノをもってきていただいたんですよ」

写真：ホットケナイナイ、高江。

ないちゃ～大作戦会議！全員集合

2016年9月9日(金) 18時30分

連合会館2階大会議室

ボギー「東京で配られていたんです。びっくりしたのはここにね、韓国の方ですね確か。福島瑞穂さんとかいてある。びっくりしたのは、5万円あげますとかいてある。

（「往復の飛行機代相当、5万円支給します。あとは自力でがんばってください」のチラシ文面）」

一体何を頑張るといふのだろうか。さらにこんなものまでが。

ボギー「これ実は普天間基地の周辺で見つかった茶封筒なんですよね。「光広」という名前と2万円という金額が書いてある。」

反対派は日当を貰ってる！？のテロップ

両方とも同じ場所で見つかっています。

これが事実なら反対派の人たちは何らかの組織に雇われているのか。

されに我々の知らない沖縄の情報を教えてくれるこの女性に話を聞いた。

キャスター 我那覇真子

我那覇「例えば、韓国から来たという男性が奥さんときて、捕まって中にいたんですよ。奥さんに対して愛の手紙をかいたと、手紙がまた新聞記事として載るわけですよ。（沖縄の）新聞社は犯罪を美しいストーリーに書き換えちゃうんです。この人はやっちゃいけないことをやったから中にいるはずなのに、それは置いといて何てうつくしい反戦平和運動なのだろうみたいなことをするんですよ。」

井上「新卒の韓流映画かい！！そんななかで警察の人も大変ですよ」

我那覇「そうですね、我々からすると、どうして地元の住民の人たちに迷惑がかかっているのに取り締まらないのっていう憤りもありますけれど、でも現場の警察官はできる限り毎日頑張っていて、何よりもその仕事をするべき警察のトップはあの方です。翁長知事です。」

（今回の取材で井上和彦が感じたことは・・・のタイトル）

二人で「沖縄を返せ～～」（海に向かって叫ぶ・・・完）